

「道徳科」(特別の教科 道徳)について

前回の研究部ニュースでもお伝えしたとおり、4月より前期生を対象に「道徳科」がスタートしています。各学年で週1回、生徒が自分と向き合い、真剣に考えられるような授業を目指し、取り組んでいます。

今回は「道徳」の教科化についてQ & Aでお知らせします。

Q1 なぜ教科になったのですか？

- 大きな理由としては深刻化する「いじめ問題」に対応するためです。
- 道徳科では、生徒が他人の心の痛みを感じ取ることができるように、また、人への差別や見下しをしないように、人として大切なことを学びます。
- 共通の「教科書」を使うことによって、教員同士が指導方法を工夫し合い、より効果的な授業を行っています。

Q3 道徳科では、どんな学習をするのですか？

- 主に教科書を使って、登場人物の考え方や行動について話し合います。また、その話し合いをもとに「自分だったら…」と自分の生き方について深く考えます。
- 道徳科に正解はありません。人としての「生き方」について学ぶ時間と言えます。

Q5 道徳科は週に何時間ありますか？ 誰が授業をしますか？

- 毎週1時間、年間35時間の授業時間です。
- 学級担任が指導します。テーマや教材に応じて、他の教員が指導することもあります。

Q7 村上中等の特色は何ですか？

- 「考え・議論する道徳」を目指して授業づくりを行っています。研究部を中心に、生徒が主体的に考え、自分の考えを持ち、仲間に伝え、他人の意見を聞いてさらに自分の考えを深め、高めていけるようにします。
- ご不明な点があれば、いつでも研究部宛にご連絡ください。

Q2 成績はどうなりますか？

- 道徳科では「1・2・3」や「A・B・C」などの数値的な評価はしません。
- 通知表では、子どもたちが「道徳科でどのように学習してきたか」を文章で伝えていきます。
- 大学入試等の可否の材料にはなりません。

Q4 道徳科にも教科書がありますか？

- あります。村上中等教育学校では、日本文教出版の「あすを生きる」を使っています。挿絵や写真が豊富で、読みやすい教科書です。
 - 道徳ノートが付属になっており、生徒が考えやすいような工夫がされています。
- 3学年では、各自で「道徳ノート」を用意して授業を進めます。

Q6 道徳教育は、道徳科だけで行うのですか？ 後期生には道徳教育はないのですか？

- 道徳教育は、生き方の教育です。学校では、道徳科だけでなく、様々な教育活動の中で進めていきます。学校のどんな活動も、道徳教育としての意味があります。
 - 後期課程には「道徳科」はありませんが、どの教育活動でも、道徳的な意義をとらえながら活動を進めます。
- 例えば、体育祭や文化祭では協力の大切さを、地域学習では地域の伝統やその良さを、チャレンジウォークや登山では最後まで諦めず、粘り強く取り組むことの大切さを体験的に教えています。

4月 主な研究部の取り組み

4/11 NRT (1~3年)

4/18 全国学力・学習状況調査 (3年)